

# メディアの政治に与える影響を研究 法・岩淵 美克教授



岩淵美克教授は「優秀な政治記者を育てたい」と語る

「政治コミュニケーション」が主要な研究分野だ。「マスメディアが政治に与える影響を研究する、特に選挙のときにメディア報道が有権者の投票行動にどう動くかを調べています」

世論研究から政治コミュニケーションの分野に入った。「学部の時、有権者が選挙でどう投票するかという『投票行動』を研究するゼミに入り、大学院では『マスコミが選挙に与える影響』に興味を持ち、学者の道を志しました」

内閣のころから、新聞よりもテレビの影響が強くなってきました。『メディアが選挙に与える影響』という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

# ハイテクオリティーな作品作りに欠かせないハイブリッド技術 芸術・原直久教授

本学芸術学部写真学科を卒業して2年後、8×10inの大型カメラを持って取材する仕事でパリを訪れた。その折、仕事の写真ではなく、自身の作品作りに生かしたいと思ったのが、当時の夢だったという。

1976（昭和51）年には文化庁派遣在外研修員としてフランス、ドイツへ。パリでは図書館や博物館に出かけて、学生時代から興味を持っていた写真家ウジェーヌ・アッジェ（19世紀末〜20世紀初頭パリを中心に活躍）の研究をしながら、週末に撮影を行う生活を10inの大型カメラを持って送っていた。

その後、本学の長期派遣研究員として再びパリを訪れた原教授は「写真撮影とアッジェの研究を行い、19世紀の近代芸術に関する調査で、活躍した背景や村などを訪ね歩きました」と語る。

このように大型カメラを使用して撮影した写真の数が増えたと、原教授は語る。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

# 現在も大型カメラでの制作が中心 貴金属で形成された画像の魅力を表現

から、それを作品にする方法として、印刷物で勝負するのではなく、「ファインプリント」という印刷（紙）で勝負する写真作りを本格的に始めた。

原教授は、写真表現の原点であるオリジナルプリントの価値と芸術性を追求し、ハイテクオリティーな作品作りのため、フインプリントによる、カラーの場合はデジタルインクジェット・プリントでも良いと思うので、可能性を探求し続けている。銀塩プリントは金属で画像が形成されたプリントで展示された。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。



原教授の作品を見ながら、写真表現についての指導を受ける学生たち



4年生のゼミナールで、学生には国会議員、ジャーナリストの話を聞く機会をつくる

岩淵 美克（いわぶみ ちよしかづ）昭和57年慶応大学卒。59年早稲田大学院修了。修士、62年慶応大学院博士後。現在は法政大学法政学専任講師、助教授を経て平成14年から現職。専攻は政治学。著書『メディアと公共政策』、『政治学』、『一藝社』。東京出身。56歳。

このほか、ゼミナールでは卒業制作の指導を行っている。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。

「有権者に与える影響」という点では、新聞よりもテレビなどの影響力が大きくなっています。